

日本山岳協会第2回理事会・臨時総会概要報告

10・3・30 清野

1. 期 日 平成22年3月14日（日）10時30から12時（理事会）
13時からから16時（総会）

2. 場 所 東京：日本青年館ホテル504会議室

3. 内 容

開 会 尾形事務局長より開会する旨挨拶・定足数22名以上26名出席会議成立報告
臨時総会・定足数56名・定足数38名以上55名出席会議成立報告

会長挨拶 役員の任期・公益法人への移行・各事業の消化などについて報告
更に本年実施予定の50周年記念事業式典に東宮御所へ皇太子殿下の出席要
請をしてきた旨追加報告

議 長 定款により田中会長が議長に、議事録署人に岐阜の堀井・栃木の仙石さんを指
名。総会は静岡の滝田・茨城の西内さんを指名。

議 事 1. 平成21年度事業報告について

事前配布の資料により尾形事務局長から21年度事業報告が行われた。
各種会議・出版・広報・財政会計監査・普及指導・遭難対策・自然保護・普
及・ジュニア対策・競技運営委員会・選手強化委員会・国際会議・医科学・
ドーピングについて報告（各登山月報に記載）

2. 平成21年度会計経過報告について

相良常務理事から21年度会計報告について説明を受けた。
21年度会計の一般会計、特別会計、補正予算関係の歳入・歳出について説
明を受け・歳入の事業活動補助金（参加者負担金、共済金委託事業費、広告
料の確見込みにより減額、更に JOC 委託事業費の増額補正）
歳出の事業活動費（競技事業費、普及事業費、遭難対策、広告費など事の
定見込みにより補正）更に管理費、特別会計補正予算について説明があり
了承された。

3. 平成22年度事業計画（案）について

尾形事務局長および内藤副会長から事業計画方針の説明、更に担当常務理
事から資料により各事業計画について詳細な説明が行われた。
創立50周年記念事業関係（登山月報1月号に掲載）
ホームページの更新・公益法人への組織・定款・規程類の見直し検討
スポーツクライミング上級指導者養成講習会の実施・指導・競技合同研修
会の実施・『少年少女登山教室』の開催・千葉国体の開催・第1回全国クラ
イミング高校生大会・共済事業の推進（加盟者の拡大）が本県に関連する。

4. 平成22年度予算（案）について

・歳入合計119,740千円

会費 16,4%・事業収入 30,0%・補助金 15,6%
業務委託 37,7%・運用 0,12%

・歳出合計 119,740千円

管理費 37,7%・競技 21,4%・普及 14,9%・広報 5,7%
遭難 5,4%・指導 4,6%・自然保護 0,6%・強化 7,5%
海外 4,0%・医科学 3,4%などが説明された。

5. 平成22年度共済事業（案）について

現在の加盟者 47,000人 目標 50,000人・実際計上は 48,000人
事業での広告費（各岳連支援費）の削減と新たに安全登山推進費の計上全体で減額となっている。今年の予算作成に注意。

6. 公益法人化の工程（案）について

公益法人移行期日平成25年11月移行とした、今後の日程や考え方について、内藤副会長から説明。

7. 創立50周年記念事業募金及び事業企画（案）について

登山月報1月号に掲載

8. 日山協ドーピング防止規程の改定（案）について

9. 日本山岳グランプリ顕彰規程（案）について

報告事項

1. 国民スポーツ登山振興基金特別積立金のとりくずし
2. 日山協登録選手規程の改正（案）について
3. 第49回全日本登山体育大会について
4. 会長・副会長選考委員会について が報告され原案どおり承認された。

尚、本報告の番号と提案された番号は一致しない。また理事会総会で提案された内容が重複しているのが割愛したところもある。（後日登山月報に掲載予定）